



「樹を伐ったら洪水になった」ベラウ（パラオ）の伝承から マーガレット・リーチ作

集会へのお招き

森と魚と激戦地

太平洋の島々の原生林と海を守るために、 日本の私たちに何が問われているか

太古から育まれてきた豊かな森と海と民の島々、その太平洋の島々を激戦地とし、戦後はその原生林を伐採し、その丸太を日本に運びつづけてきた熱帯材消費大国日本（2020年まで世界最大の輸入国）。さらにその海に、日本の原発からの放射性廃棄物の垂れ流しを強行している日本。島々の原生林を守る活動にかかわり、住民と共に放射性廃棄物の海洋投棄計画に反対してきた清水靖子が、その40年間のかかわりのなかで、聞きとりをつづけた住民の苦難と抵抗の数々、その知られざる事実を参加者に伝える。太古からの森を奪って裸の島々にし、地球温暖化の一端を担ってきたともいえる、私たちのありかたについて、参加者の方々と共に考え、未来を模索していきたい。豊饒な森と海と民の暮らしの、美しい映像のスライド・プレゼンテーションにもご期待ください。

講師：清水靖子（メルセス会修道院）

講師の近著 『新版 森と魚と激戦地』三省堂書店 2023年

他に『日本が消したパプアニューギニアの森』明石書店 1994年／

マーロン・クエリナド、清水靖子共著『森の暮らしの記憶』自由国民社 1998年／

宮内泰介・清水靖子「開発協力という名の熱帯雨林伐採」『検証ニッポンのODA』

コモンズ社 1992年



パプアニューギニアで清水靖子

日時：2024年12月14日（土）10：00～11：30

会場：聖心女子大学グローバル共生研究所 4号館2階4-2教室

（東京メトロ日比谷線広尾駅下車4番出口から徒歩1分、右地図参照）

集会への申し込みフォーム：

<https://forms.gle/GSHbHd3MWsQBjecV7>



参加費：無料（申し込みせずに集会への参加も可能）

問い合わせ先：グローバル共生研究所（jimu-kyosei@u-sacred-heart.ac.jp）

パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会 代表 辻垣正彦 03-3492-4245

講師：清水靖子 080-1218-2202

共催：パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会

聖心女子大学グローバル共生研究所

◆集会の後に新版『森と魚と激戦地』（三省堂書店）の販売、現地で森を守る人々への支援販売もあります。

